

【たが かずゆき】 58歳

福井大学教育学部付属中学校、福井県立藤島高等学校出身  
 「子供たちの心の中にある“甘える壺”を満たす」「母親の役割・父親の役割」など子育て中の親のための講演会  
 及び、「ワークライフバランス」、「アメリカの強さと日本の素晴らしさ」など大人向けの講演会も行っていきます。  
 【お問合せ先】 白山市美川和波町力128番地1 TEL 076-278-3384  
 子育て応援サイト 「たがのわ」 <http://www.taganowa.com>

「カッコイイ大人達」  
 ETHICAL PERSONS



# 子育ては、最も大切な予防医学 日本の未来をお母さんとともに変えていきたい

多賀クリニック 院長 小児科医師

## 多賀 千之さん

30年以上にわたり、小児科医として多くの子供たちを診察してきた多賀先生。50歳を過ぎて、それまでのことを振り返ってみた時、本当に順風満帆な人生だったと言います。

「これは自分の努力の結果ではなく、きつと先祖の「余徳」のおかげ。自分に与えてもらった幸運を、世の中に返していかなければもったいないと思いました。」



35歳頃、金沢大学研究生としてアメリカに留学

子供たちを診る傍らで、子育てに関する悩みを打ち明ける多くのお母さんに接してきた多賀先生は、ある一冊の絵本と出会います。著名な作家さんの講演会で、大人が読んでおくべき絵本として紹介された中であつたのが、「ちよっとだけ」というタイトルの絵本でした。

「この絵本を初めて読んだ瞬間、多くのお母さんが抱えている悩みを解決できるかもしれないと思いました。」

早速、購入した絵本を診察に訪れたお母さんに読んでもらったところ、多くの人が目に涙をあふれさせたそうです。しかし、良薬は口に苦しんで、読むだけだと人によっては副作用もあると感じたと言います。

かつて米国の大学に留学し、日本とアメリカの能力の伸ばし方の違いを身をもって経験した先生の心に探究心が芽生えます。

「異文化に触れたことで、古き良き日本の素晴らしさを知ることができたし、時代の遷り変わりによる子育ての環境や価値観の違いに気づきました。」

人には大きさや形が異なる「甘える壺」があり、その壺が満たされることで、人への信頼感や自立心が育まれるのではないかと考えた多賀先生は、お母さんたちへの検証を数多く行い、確信へと至ります。そして、悩み迷うお母さんたちを救いたいと、講演活動をスタートさせました。

「昔、小学校の先生をしていた父が、勉強の苦手な子供たちを集めて、算数などを一所懸命教えて

いたそうです。『農家を継ぐのだから、勉強を教えても無駄だ』という周囲の声に、『どんな将来がこの子たちを待っているかわからない。今教えないで、いつ教えるんだ！』と父が語っていたと母から聞かされました。」



人間形成の根本である子育てを通じて、日本の未来を変えることをライフワークとする多賀先生の中には、きつと同じ血が受け継がれているに違いありません。

